

令和 6 年 度 自 己 評 価 の ま と め

遊・Wing

	結 果
保育 職員 目標・	○子どもたちは個の力や自分らしさを十分に発揮し、明るくのびのびと育っていた。 ○子どもへの対応の認識が違う保育士がいたので話し合いをしたが、良い方向へつながらなかった。 ○複数担任で職員間の連携が難しく、各年齢の動きが優先されたため連携に対しての話し合いがされていなかった。そのため、他の年齢の活動を聞いても把握していないことが多かった。 ○対面研修での機会が多かったが、内容を他の職員に伝える機会が少なかったので、共有方法を考えていく。
保育 について	◎感染症についての制限がなくなり、活動がもとに戻りつつある中で、コロナ禍での活動を残しつつ、新しい内容で工夫して行うことができた。 ◎送迎時に子どもたちが遊んでいる様子を保護者が見ることで、気になることや遊んでいる様子をその場で伝え、個の成長へとつながっていったので良かった。 ○個々の発達に合わせ個別計画を共有・支援し関係機関との連携をした。巡回相談を受けながら、一人一人の成長に同じ意識で関わることができた。 ○朝夕の自由遊びの約束ごとを全職員で確認することで、保育の仕方への共通認識ができたが職員によって意識が違うことがあった。
健康 安全 について	○新型コロナウイルス感染症の対応が変わり、都度の対応があった。園としての基本を伝えながらも保護者の意向を確認した対応が必要な場面があった。 ○感染症が流行することがあったが、免疫が付いたようで昨年度よりは感染者は少なかった。 ○乳児の午睡中の事故について、しっかり捉えチェックを徹底した。更に意識を高めていきたい。 ○アレルギー児に対しての認識が保育者によって違いがあり、連携できず間違って提供してしまったことがあった。提供の仕方、認識を統一するための話し合いを行い、安心安全に確認していくことにする。
保護 者・ 地域 について	○園内で身支度をする中で、保護者とコミュニケーションを取りながら関わることもできたので良かった。保護者により伝え方が異なるので、伝え方を職員間で確認していくことが必要だった。 ○保護者懇談会や個人懇談などで園児や家庭の話ができた。 ○子育て困難な家庭や園児に対して、関係機関(保健師や要保護児童対策担当)と連携し家庭内の状況が把握できた部分があった。 ○地域の子育て支援は、人数を制限し行うことができた。その中で、保護者の悩みなどを聞き関わりを持てた。
	内 容
次 年 度 に 向 け て の 改 善 点	○さまざまな感染症が流行る傾向があったので消毒方法を周知し、次年度も安全を優先し情報を元に安全に保育を続けたい。 ○保育士やその他の職員に対して、安全な保育や環境についての情報を共有し学び合いを増やしていきたい。学び実践できるようにしていく。 ○発熱時の園の対応を伝えながらも保護者の気持ちに寄り添い、子どものための対応を考えて伝えていきたい。 ○職員全体での会議が難しい、参加できなくても書類等を通して全体としての共通理解を徹底したい。職員の資質や精神的な問題が子どもたちに影響することなどを話し合い、職員間の連携や情報を共有していく。